

ヒロ・高田 ピアノリサイタル



2024年 4月20日(土)




開場 6:00 P.M./開演 6:30 P.M.

会場  **水戸市民会館**
MITO CITY CIVIC CENTER
ユードムホール(中ホール)

前売り券 ¥4,000/当日券 ¥4,500
25歳以下の方 前売り券 ¥2,500/当日券 ¥3,000
お問い合わせ: hirolucy@outlook.com

〔演奏予定曲〕

- When I Grow Too Old to Dream
- Lonnie's Lament
- Imprvisation part 1
- Softly, as in a Morning Sunrise
- Lover Man (Oh, Where Can You Be?)
- Billie's Bounce 他

主催:  RMC リュウ・ミュージック・カンパニー
後援:  株式会社 サザコーヒーHD
協賛:  在日ウクライナ大使館



ヒロ・高田 (ピアニスト、作曲家)

常陸太田市生まれ。高校時代(茨城キリスト教学園)からジャズのグループで活動を始め、獨協大学時代に古山日出脇カルテットでプロ入り。その後ジャズベースの第一人者、原田政長トリオを経て'76年に渡米。L.A.のディック・グルーヴ・ジャズ・スクールで学び、次いで'77年にカウント・ペーシー楽団のシンガー、ヘレン・ヒュームズの推薦を受けてボストン・パークリー音楽院に入学。'80年卒業後はL.A.に戻り、ジャズ・クラブ、コンサート、テレビなどで活躍。'82年帰国後に自己のセクステットを結成。またユニセフのチャリティ基金“SUN”を立ち上げ、12年間、音楽プロデュースを務める。

'89年と'90年にはN.Y.に滞在し、ジュリアード音楽院において現代音楽の作曲を学ぶ。帰国後、ヒロ・高田スタジオを設立して若手の育成に努める一方、都内をはじめ各地で積極的にライブ活動を行う。

米国国務省に音楽大使として招待され演奏。米国ニューポート市と姉妹都市である伊豆下田市主催のプロ・アマジャズコンテストで“市長賞”を受賞。

オーシャン・ブルー・ジャズ・フェスティバル・インひたちなかに出演。

八城一夫、Ray Santisi(レイ・サンティジ;パークリー音楽院)、Jaki Byard(ジャキ・バイアード;ニューイングランド音楽院)に師事。

代表作“Memories of B.L.T.”(VMPレーベル)

現在、両親、師匠、友人へのトリビュート・アルバムを制作中。



「Soon!」

(VMP) HT-1002

税込価格 ¥3,000



「Portrait in NYC」

(VMP) HT-1003

税込価格 ¥3,000

ハード・バップを習得した上で、ポストコールドレーンから現代ジャズに至る技法を真剣に探求している数少ない理想主義の実力派の一人。はったりや物珍しさが、ともすれば誇張されがちな日本のジャズ界にあって、彼のように音楽的な幅を持ちつつ、最も新鮮なサウンドを追求するピアニストの存在は極めて貴重である。



瀬川 昌久 (ジャズ評論家)



JR 水戸駅から

■路線バス:北口(4~7番のりば)から約5分、「泉町一丁目」下車

■徒歩:約20分

■お車:水戸ICより国道50号線で約20分

茨城県水戸市泉町1-7-1



<https://www.mito-hall.jp/>

